サクラやモモの近くでこんな虫、木くずを見かけたら

通報フォームへ

通報お願いします！

通報フォーム

黒い体に赤い首



うどんのような幼虫のフン



※地面に落ちたり、雨風が当たる等で形がくずれていることもあります。

↓こんな大きさ
（体長2.5～4cm）



成虫写真提供：埼玉県環境科学国際センター

この虫は「クビアカツヤカミキリ」という※特定外来生物で、サクラやモモの樹を枯らします！！

※外来生物のうち、生態系などに被害を及ぼすものについて国が指定。飼養、栽培、保管、運搬、輸入等が、原則として禁止され、防除の対象。

兵庫県自然鳥獣共生課　078-362-3389

クビアカツヤカミキリとは？

サクラ・ウメ・モモ・スモモ等の主にバラ科の樹木を加害するカミキリムシで、特定外来生物に指定されています。詳しくは、WEB「ひょうごの環境」へ







４～１０月に幼虫は樹の内部を食べ、木くずと混ざったフン（フラス）をそうめん・うどんのような形にして大量に排出しながら成長します。

成虫は５月末～８月に活動し、樹皮に 1000 個近くの卵を産みます。

フラスの見分け方

フラスを崩してみると…



クビアカツヤカミキリのフラス
繊維状の木くずが見られない



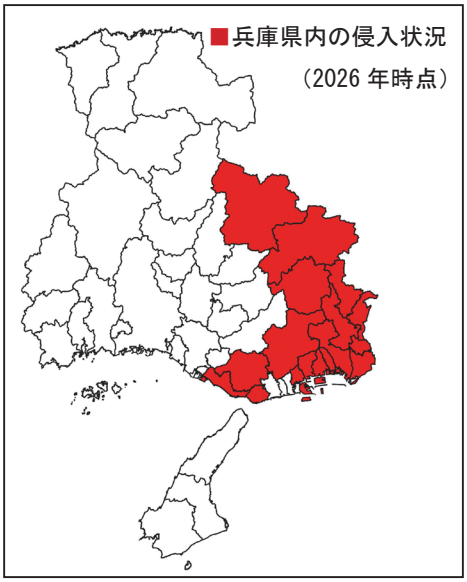
他種のフラス
繊維状の木くずが多く見られる

被害が出たら・・・

被害にあった樹は、連鎖被害防止のため伐採が必要です。桜並木をすべて切り倒した事例も国内で報告されています。

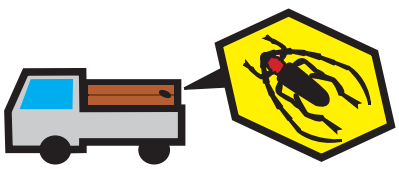
①ウメ・モモの果樹園 ⇒ 甚大な農業被害が発生。

②公園や街路樹、学校、文化財のサクラ・ウメ ⇒ 景観が悪化「お花見」ができなくなります。



いつ・どこで見つかってもおかしくありません！！

クビアカツヤカミキリは車、鉄道に付いて拡大すると考えられています。兵庫県内では令和８年６月現在、12 市町で被害が確認されており、生息範囲が広がりつつあります。



通報フォーム、メール（Shizenchoujuu@pref.hyogo.lg.jp）、電話のいずれかで、速やかに兵庫県自然鳥獣共生課またはお住まいの自治体窓口に知らせてください！

・発見した日、発見した場所、どうやって発見したかをお知らせください。
・できれば、写真を撮ってください。（スマホでも OK ！）
※クビアカツヤカミキリを生きたまま持ち運んではいけません。
・死んでいる個体を見つけた場合もお知らせください。

通報フォーム↓

兵庫県自然鳥獣共生課　078-362-3389